

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
歌舞伎座合評 [明治35・10歌舞伎座]	劇評	三木竹二 伊原青々園 清潭生 眞如女史		歌舞伎（第一次）	第30号	明治35年11月 歌舞伎発行所
前号の合評を見て [明治35・10歌舞伎座]	劇評	榎町 駒込 桜田		歌舞伎（第一次）	第31号	明治35年12月 歌舞伎発行所
左官の長兵衛	芸談	伊坂梅雪／編	《5》尾上菊五郎／述	『尾上菊五郎自伝』		明治36年3月 時事新報社
左官の長兵衛	芸談	伊坂梅雪／編	《5》尾上菊五郎／述	『五代目菊五郎自伝』		昭和4年2月 先進社 平成9年12月 日本図書センター
梅の下風〈2〉〈文七元結〉	雑話	伊坂梅雪		演芸画報	明治44・2	演芸画報社 『梅の下風』（昭和5年11月・ 法木書店）に収録。
歌舞伎座初日合評 [明治44・2歌舞伎座]	劇評	眞如女 しぐれ女 芹影女		歌舞伎（第一次）	第129号	明治44年3月 歌舞伎発行所
梅の下風〈4〉〈左官長兵衛〉	雑話	伊坂梅雪		演芸画報	明治44・4	演芸画報社 『梅の下風』（昭和5年11月・ 法木書店）に収録。
梅の下風〈5〉〈左官長兵衛〉	芸談		《5》尾上菊五郎	演芸画報	明治44・5	演芸画報社 『梅の下風』（昭和5年11月・ 法木書店）に収録。
「河内屋与兵衛」の舞台面	解説	平岡権八郎		歌舞伎（第一次）	第133号	明治44年7月 歌舞伎発行所
人情噺文七元結 [大正8・3帝国劇場]	見たまま	煙の人	長兵衛（《6》尾上菊五郎）	演芸画報	大正8・4	演芸倶楽部
中座の文七元結 [大正8・大阪中座]	劇評	吉田笠一		演芸画報	大正8・5	演芸倶楽部
おめでたい芝居のおなはし 江戸ツ子心理	芸談		《4》市川男女蔵	演芸画報	昭和3・11	演芸画報社
歌舞伎の伝統を生かせ [昭和17・4歌舞伎座]	劇評	飯塚友一郎		演芸画報	昭和17・5	演芸画報社
東京都劇場だより [昭和22・3三越劇場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・4	和敬書店
沢瀉屋系の勸進帳 [昭和24・3名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和24・4	和敬書店
猿之助の衰退 [昭和24・4大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		幕間	昭和24・5	和敬書店
新旧混合歌舞伎 [昭和24・5歌舞伎座]	劇評	本山荻舟		演劇界	昭和24・6	日本演劇社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
菊五郎劇団名古屋初公演 〔昭和26・3名古屋御園座〕	劇評	木村菊太郎		演劇界	昭和26・3	演劇新社
幕間随想 出しにくい生世話の味〔長兵衛〕	芸談		《4》市川男女蔵	幕間	昭和26・3	和敬書店
菊五郎劇団名古屋初公演 〔昭和26・3名古屋御園座〕	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和26・3	和敬書店
初春の演舞場 〔昭和27・1新橋演舞場〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和27・2	演劇新社
幕間随想 江戸っ児の役々〔長兵衛〕	芸談		《4》市川男女蔵	幕間	昭和27・2	和敬書店
オツリのくる配役 〔昭和27・1新橋演舞場〕	劇評	大木豊		幕間	昭和27・2	和敬書店
十年振りの海老蔵 〔昭和27・11大阪大阪歌舞伎座〕	劇評	井上甚之助		演劇界	昭和27・12	演劇出版社
若さの魅力 〔昭和27・11大阪大阪歌舞伎座〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和27・12	和敬書店
歌舞伎座と新橋演舞場初春の二座合評 〔昭和31・1新橋演舞場〕	劇評	戸部銀作 大木豊		幕間	昭和31・2	和敬書店
まさに百貨店興行 〔昭和32・2東横ホール〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和32・3	演劇出版社
大物古典二つと若手 〔昭和32・2東横ホール〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和32・3	和敬書店
文七元結	鑑賞	加賀山直三		演劇界 歌舞伎狂言百科 2	昭和32・11増刊	演劇出版社
幕間随想 顔見世の五役〔お久〕	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和33・1	和敬書店
戌年京の顔見世記 〔昭和32・12京都南座〕	劇評	井上甚之助 高木四郎／ゑ		幕間	昭和33・1	和敬書店
猿之助の持味で持つ 〔昭和33・6新宿松竹座〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和33・7	演劇出版社
幕間随想 ごまかせない役〔女房〕	芸談		《3》市川松蔦	幕間	昭和33・7	和敬書店
久し振の猿之助劇団公演 〔昭和33・6新宿松竹座〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和33・7	和敬書店
寿海加入の大歌舞伎 〔昭和34・11歌舞伎座〕	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和34・12	演劇出版社
幕間随想 六代目演出と台本	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和34・12	和敬書店
寿海と吉劇団 〔昭和34・11歌舞伎座〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・12	和敬書店
幕間随想 初芝居の四役〔長兵衛〕	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和35・2	和敬書店
寿海の「尾上伊太八」 〔昭和35・1大阪中座〕	劇評	関逸雄		幕間	昭和35・2	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
不満・不安の舞台 [昭和35・11大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		幕間	昭和35・12	和敬書店
顔見世大一座 [昭和35・12歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和36・1	演劇出版社
幕間随想 長兵衛での反省	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和36・1	和敬書店
幸四郎の顔見世芝居 [昭和35・12歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		幕間	昭和36・1	和敬書店
人情噺文七元結	解説	菊池明		『演劇百科大事典』	第四巻	昭和36年3月 平凡社 早稲田大学演劇博物館／編
内容的にもタップリ [昭和37・12東横ホール]	劇評	大木豊		演劇界	昭和38・1	演劇出版社
伝統演劇の廃園 [昭和41・2歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和41・3	演劇出版社
幸四郎の「ひとり狼」そして猿之助 [昭和41・4大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和41・5	演劇出版社
起二、伏二の成果 [昭和43・1歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和43・2	演劇出版社
「勸進帳」と「黒塚」 [昭和43・2名古屋御園座]	劇評	関山和夫		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
文七元結	鑑賞	関山和夫		演劇界 歌舞伎狂言の鑑賞 1	昭和44・5増刊	演劇出版社
吉例「顔見世」見物記 [昭和44・11京都南座]	劇評	依田義賢		演劇界	昭和45・1	演劇出版社
「隅田川」の円熟 [昭和46・1歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和46・2	演劇出版社
菊五郎襲名披露大阪公演 [昭和49・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	菱田雅夫		演劇界	昭和49・6	演劇出版社
初役揃いの「御殿」 [昭和51・2歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	昭和51・3	演劇出版社
新鮮な美しさ『鷺娘』 [昭和53・2新橋演舞場]	劇評	上村巖		演劇界	昭和53・3	演劇出版社
勘三郎の顔見世だった [昭和53・11歌舞伎座]	劇評	山口廣一		演劇界	昭和53・12	演劇出版社
藤十郎奮闘す [昭和54・5大阪朝日座]	劇評	藤田ゆかり		演劇界	昭和54・6	演劇出版社
文七元結	鑑賞	津田類		演劇界 歌舞伎名作案内 2	昭和54・10増刊	演劇出版社
歌舞伎の伝承 [昭和56・1歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和56・2	演劇出版社
文七元結	解説	渡辺保		『歌舞伎手帖』		昭和57年7月 駉々堂出版
勘三郎の人情噺 [昭和62・3歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和62・4	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
整った舞台 [昭和62・10名古屋御園座]	劇評	関山和夫		演劇界	昭和62・11	演劇出版社
時代を超えて観た三演目 [平成1・3歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	平成1・4	演劇出版社
人情噺と写真芸	鑑賞	戸板康二		国立劇場第一七七回歌舞伎 公演解説書	平成5・1	日本芸術文化振興会
人情噺と明治歌舞伎	鑑賞	永井啓夫		国立劇場第一七七回歌舞伎 公演解説書	平成5・1	日本芸術文化振興会
音羽屋系の二演目 [平成5・1国立劇場]	劇評	戸板康二		演劇界	平成5・2	演劇出版社
人情噺文七元結	鑑賞	水落潔		『歌舞伎鑑賞辞典』		平成5年9月 東京堂出版
久々の芝居や新作舞踊劇 [平成5・10歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	平成5・11	演劇出版社
味の出た勘九郎・長兵衛 [平成7・7大阪中座]	劇評	廓正子		演劇界	平成7・8	演劇出版社
世話物二つ [平成7・11歌舞伎座]	劇評	阿部優蔵		演劇界	平成7・12	演劇出版社
大きくなった団十郎実盛 [平成8・11京都南座]	劇評	廓正子		演劇界	平成8・12	演劇出版社
大顔合わせだが…… [平成9・1歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成9・2	演劇出版社
楽しみ多い花の歌舞伎 [平成9・4名古屋御園座]	劇評	藤澤夏生		演劇界	平成9・5	演劇出版社
充実した「達陀」とフレッシュ「寺子屋」 [平成11・2大阪松竹座]	劇評	亀井五郎		演劇界	平成11・3	演劇出版社
六代目はいまでも生きている [平成11・5歌舞伎座]	劇評	浜村道哉		演劇界	平成11・6	演劇出版社
錦秋の顔見世 [平成12・10名古屋御園座]	劇評	川村正		演劇界	平成12・11	演劇出版社
監修のことば 世話物と舞踊と	鑑賞	河竹登志夫		国立劇場第五九回歌舞伎鑑 賞教室解説書	平成13・7	日本芸術文化振興会
長兵衛夫婦のいさかい [平成13・7国立劇場]	劇評	津田類		演劇界	平成13・9	演劇出版社
大入りの歌舞伎座 [平成14・1歌舞伎座]	劇評	阿部優蔵		演劇界	平成14・3	演劇出版社
芯の座を占めた三津五郎 [平成14・2福岡博多座]	劇評	清水一朗		演劇界	平成14・4	演劇出版社
人情噺はいかにして成立したか	鑑賞	中込重明		『落語の種あかし』		平成16年6月 岩波書店
巡る春の海老蔵 [平成17・1新橋演舞場]	劇評	上村以和於		演劇界	平成17・3	演劇出版社
仁左衛門名演 [平成17・11歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成18・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
和泉屋清兵衛／お兼／お久／角海老女房／左官長兵衛／鳶頭伊兵衛／文七	解説	寺田詩麻		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
充実の演目で楽しませる勘三郎 [平成18・6福岡博多座]	劇評	羽野菜摘		演劇界	平成18・8	演劇出版社
勘三郎四変化 [平成19・10新橋演舞場]	劇評	上村以和於		演劇界	平成19・12	演劇出版社
絢爛たる「二人道成寺」 [平成21・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成21・4	演劇出版社
勘三郎、復活 [平成23・9大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成23・11	演劇出版社
文七元結／文七元結情写真／人情噺文七元結	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 下の二』		平成24年1月 日本芸術文化振興会 歌舞伎資料選書・11
勘三郎、復活 [平成24・11新橋演舞場]	劇評	水落潔		演劇界	平成25・1	演劇出版社
アンサンブルで紡ぐ充実の舞台 [平成26・10名古屋日本特殊陶業市民会館ビ レッジホール]	劇評	安住恭子		演劇界	平成26・12	演劇出版社
荒事と世話物で二世松緑追善 [平成27・10歌舞伎座]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成27・12	演劇出版社
芝翫、時代と世話 [平成29・12京都ロームシアター]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成30・2	演劇出版社
三兄弟による十三世追善 [令和2・2歌舞伎座]	劇評	小玉祥子		演劇界	令和2・4	演劇出版社